

Risk Flash No.233 (Vol.6 No.31)

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
発行責任者：リスク研究センター長 久保英也

- シリーズ「映像制作授業における多様なツールを活用したアクティブラーニング型授業の展開」第6回: SULMS 電子掲示板を活用した協調学習 (CSCL)・・・Page 1
- リスク研究センター通信・・・Page 2

シリーズ「映像制作授業における多様なツールを活用したアクティブラーニング型授業の展開」第6回

SULMS 電子掲示板を活用した協調学習 (CSCL)

しょうじかずや
特任講師 庄司一也

プロジェクト科目「映像表現入門（ひこねびと第3弾）」では、本学 e-ラーニングシステム・SULMS を多数活用し、かつ映像機器の体験・体感を主としたアクティブラーニング型授業を展開する主体的な学びとなりました。

こうしたアクティブラーニング型授業においては、学習活動を振り返る内省の時間が大変重要になります。そこで、SULMS の電子掲示板機能を利用して、毎回の授業後、振り返り（リフレクション）を行いました。

本来リフレクションは、一定の記述指定が必要ではありますが、今回は試験的取り組みということもあり、「学習（活動）した内容」「チーム内での反省点」「今後の課題」等を自由に記述させました。

また、単に電子掲示板に自己の意見を書き込んで終了ということではなく、同じ撮影チームメンバーの意見に対し、返信・質問・意見等の書き込みを推奨する「協調学習 (CSCL・Computer Supported Collaborative Learning)」を実践しました。結果としては電子掲示板内の議論があまり活性化しなかったという反省点があり、本来意図していた協調学習としては不十分なものとなってしまいましたが、まずは本学において利用率の極めて低い SULMS・電子掲示板を使用した学習を実践（環境提供）できたことは大変意義あることだと思っております。

また、対面のみならず、オンライン上での発言やコミュニケーションを体験し、かつ電子掲示板の特性から他学習者のコメントを閲覧でき、学習内容や意見を共有できたことも SULMS の特性を活かした効果的な学習になったと思っております。

今回の電子掲示板活用は反省点や課題が多数残るものとなってしまいましたが、この反省点を活かし、現在「情報リテラシー」での効果的な協調学習を実践しているほか、「ひこねびと第4弾」ではよりよいオンラインコミュニケーション学習と議論の活性化を図りたいと思っております。



The screenshot shows the Moodle LMS interface for Shiga University. The forum title is '映像表現入門2015年(ひこねびと)'. The selected thread is '第二回目の感想' (Reflections on the 2nd session), posted on 2015年09月08日 (Wednesday) at 22:38. The thread contains three posts: the original post by 一也 (Ichio) and two replies. The first reply is from 一也 (Ichio) on 2015年09月08日 at 22:55, and the second is from 一也 (Ichio) on 2015年09月09日 at 01:23. The interface includes navigation links like '返信をネスト表示する' and 'このディスカッションを移動する'.

毎回の授業後、SULMS の電子掲示板機能を使用して振り返り（リフレクション）を行いました。なお、自己の意見だけではなく、可能な限り他者への返信・質問・意見等を推奨しました。

リスク研究センター通信

リスク研究センターよりお知らせ

◇平成 28 年度リスク研究センター 研究助成募集の〆切が近付いて参りました。

詳しくは <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/6:26> をご確認ください。

申込は 1/29(金) 〆切となっております。ご希望の方は、リスク研究センターまでお問合せください。

「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

【サービスの提供】

1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

【サービスの変更・中止・登録削除】

1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量が一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

【個人情報等】

1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

【免責事項】

1. 配信メールが回線上的問題（メールの遅延、消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

【著作権】

1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変して blog 等への掲載を希望される方は、事前に下記へお問い合わせください。

※尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。

※当リスクフラッシュをご覧頂いて、関心のある論文等ございましたら、下記事務局までメールでお問い合わせください。

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター

編集委員：ロバート・アスピノール、大村啓喬、菊池健太郎、
金秉基、久保英也、柴田淳郎、得田雅章、山田和代

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局（Office Hours:月～金 10:00-17:00）
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1 TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189
e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp
Web page: <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2>